

## 新型コロナウイルスのステルス感染

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言は、京都では、5月21日に解除され、私どもの診療所では、6月の初めごろから急に新型コロナウイルスに抗体を持っている方が増えてきました。(バイディジタルOリングテストでみているのですが。)

4月15日から来られた方は全員調べています。待合の患者さんと職員への感染を防ぐため、もちろん職員も自分も毎日調べています。抗体を持っている方は、6月末までに250人程になっているのです。特に最近は3割程に抗体がみられます。ほとんどの方は、「えっ、いつの間に?」と驚かれるほど、症状はなかったと言われます。ウイルス感染中で、お帰りいただき、出直していただいた方は5人で、6月になってからは一人もおられなかったです。心配なのは、一度抗体ができていたのにすぐ消えている方がいる事です。そのような方は今のところ7人です。一番長く観察できていて3か月間抗体が持続しています。研究者の報告でも抗体は、一過性のものだと指摘されています。インフルエンザの抗体もワクチンでは、3か月から5か月持続ですので、その程度のものか、あるいは、もっと短いのかもわかりません。そして、この感染は水面下で広がっているように思います。感染すれば、重症になると言われる、免疫抑制剤、ステロイド使用中の方、喘息、88歳の高齢者なども抗体があり、しかも感染した経緯は不明と言うのです。大量のウイルスが入らないように、手洗い、マスク、三密を避ける、などの実行のために、少量のウイルスによるワクチン効果もたらされたのかもしれませんが。第二波、第三波もあるでしょうから、私どもは、このシステムを続ける予定です。入り口でのご協力、引き続きよろしくお願いします。

さて、コロナウイルスにも関係あるのですが、最近、大人の方の牛乳や卵のアレルギーが多くなっていることに気が付きます。食物アレルギーの代表的なものですが、たいていの方が、牛乳、卵は子供のアレルギーで、自分には関係ないと思っておられるのです。加熱不十分なものや質の悪いものをたくさん食べたり、消化器系の調子が悪い時に食べたものはアレルギーになり易いのです。大人の場合は、湿疹や蕁麻疹などわかりやすい症状は少なく、だるさなど体調が悪い、風邪が続く、関節痛、頭痛、不眠、肝障害、胃腸障害などのように、食物との関連がわかりにくい事が多いのです。

さらに、牛乳アレルギーはウイルス感染を起こし易くします。牛乳アレルギーを持っていた方はコロナ感染拡大のこの時期には注意が必要です。ちなみに、卵アレルギーでは細菌感染に弱くなります。ウイルス感染には、細菌感染も合併しやすいので、牛乳も卵もアレルギーになったことのある方は、お気をつけてくださいね。